

くらしの
相談など、
いつでも
お気軽に

日本共産党 武蔵野市議団ニュース

2008年6月22日No.102

《連絡先》

梶 雅子 47-9391

橋本しげき 36-3110

発行 日本共産党武蔵野市議団 Tel 60-1888 fax 51-9485

6月議会

【梶雅子議員の一般質問】

①「耐震診断・耐震改修を受けやすくするために」②「避難所について」③「外環ノ2」についての3点を質問しました。

市長は、①耐震診断・耐震改修をすすめるため、支援策の充実、手続き全般の簡素化を考える。今年まず西部地域で無料の診断アドバイザー制度チラシを全対象住宅にまく。防災、震災の助成制度の一元化の工夫をしていきたい。②防災トイレは今年度は境南小学校に設置、公的な場所には進めるが、個人でも用意するようPRする。ペットの避難は獣医師会と検討を始めたところ。③「外環ノ2」は納得できるものではない、データを示して必要性から議論してもらう。本線も「どうぞ建設してください」という態度ではない、環境・安全性などデータの要求をし、これからも要望していくとの答弁でした。

【橋本しげき議員の一般質問】

私は、(1)「後期高齢者医療制度」について、(2)学校給食について、(3)「事務事業・補助金見直し」の進め方について、の3点質問しました。具体的には、(2)は、中学校給食が始まることで調理員がたりなくなり、民間委託の可能性のあることについて、(3)は、市がおこなっている事業のうち主に53の事業について、見直し・市民負担増・委託化などが検討されていることについてです。

市長の回答は、(1)75歳以上という特定の弱い立場の人を集めた制度。課題も多くある。年金天引きなどこの制度に対する怒りの声は理解する。財源は福祉にふりわけたほうがいい。(2)調理員を新規採用しないという現在の方針について、再度議論が必要。(3)安易なコスト削減ではなく、全体として市民サービスを下げないようにしたい、との答弁でした。

7月の無料法律相談

7月8日(火)午後1時30分より

*日本共産党市議会議員控室

*各議員まで予約を

*武蔵野法律事務所の

弁護士が相談にのります。

【毎月第2火曜日が法律相談日です】

傍聴いただきありがとうございました